

科目の教育目標・授業計画 「2025年度」						学 科 名	IT エンジニア学科
科目番号	101	科 目 名	ビジネスソフト			科目区分	兼任
科 目 群	一般教養	担当講師	麻生裕之			履修区分	選択必修
開講学年	1	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	演習
教 科 書	学 生 の た め の か ん た ん Word/Excel/PowerPoint 入門			参考書	無し		
成績評価	出席(30%) 試験(70%)						

1. 授業概要

Windows、Word、Excel、OneDrive、Outlook の基本的な操作を学び、ファイル管理と Word による文書作成、Excel による表計算、PowerPoint によるスライド作成のスキルを修得する。

2. 到達目標

Windows、Word、Excel、OneDrive、Outlook の基本的な操作と、Office 文書の作成と保存、管理ができるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス、Windows と OneDrive の基本操作、ファイル管理
2	Outlook（送受信、ファイル添付）、文字入力（IME、入力と変換、半角と全角・記号）
3	Word1 基本操作、文字入力、コピーと貼り付け、保存
4	Word2 ビジネス文書作成、余白、ページ設定、揃え、文字装飾、PDF 作成
5	Word3 表を活用した文章の作成、画像や図形の活用
6	Word4 まとめ
7	中間テスト
8	PowerPoint1 基本操作、スライドの作成と管理
9	PowerPoint2 図形や画像、動画の挿入と装飾、素材の利用
10	PowerPoint3 背景とデザイン、アニメーション、スライドショー
11	Excel1 データ入力の基本
12	Excel2 データ管理
13	Excel3 計算式と関数
14	Excel4 様々な関数、グラフ
15	期末テスト
16	課題提出、講評
17	まとめ

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	IT エンジニア学科	
科目番号	102	科 目 名	社会人基礎力講座（留学生）		科目区分	兼任	
科 目 群	教養	担当講師	八木 純子		履修区分	必修・選択	
開講学年	1 年次	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	ビジネス能力検定ｼｮﾌﾞﾊﾟｽ 3 級公式テキスト			参考書	新聞 オリｼﾞﾅﾙﾌﾟﾘﾝﾄ オリｼﾞﾅﾙﾜｰｸｼｰﾄ 3 級検定過去問題		
成績評価	期末テスト（模擬試験）60％ ビジネス能力検定の合否 20％ 出席と通常授業態度 20％						

1. 授業概要

留学生達が 日本での就職活動や 職場で役立つ「ビジネススキルとビジネスマナー」をしっかりと身につける。

2. 到達目標

ビジネス能力検定ジョブパス 3 級の資格を取得できるレベルの知識や読解力・判断力を習得。合格を目標。

3. 授業計画

後期	
1	SMBC 特別講座 SMBC コンシューマーファイナンス（株）
2	着こなし講座 コナカ・フラッグ
3	「リエンション」「あいさつなど立居振舞」「ビジネス検定 3 級とは」 「キャリア、仕事、働くということ」「会社の基本とルール」「8 つの意識①」「練習問題」
4	「8 つの意識②」「練習問題」「ケース問題の練習」「ビジネス用語①」
5	マイナビ説明会 （株）マイナビ
6	「コミュニケーションとビジネスマナーの基本 敬語種類・報連相・職場でのあり方等①」「練習問題」 「ビジネス用語②」
7	「コミュニケーションとビジネスマナーの基本 敬語種類・報連相・職場でのあり方等②」「練習問題」 「ビジネス用語③」
8	「新聞問題の解き方のコツと練習」「新聞問題」「ビジネス用語④」
9	「ビジネス文書①」「E メール・パソコン」「練習問題」「ビジネス用語⑤」
10	「ビジネス文書②」「練習問題」「表グラフ問題」「ビジネス用語⑥」
11	「来客応対・面談・名刺交換・訪問・会食・冠婚葬祭①」「過去問題」
12	「来客応対・面談・名刺交換・訪問・会食・冠婚葬祭②」「練習問題」「ビジネス用語⑦」
13	「電話応対」「仕事への取り組み方・定型・非定型業務・スケジュール」「過去問練習」
14	「日本経済の状況と歴史」「ビジネス用語や略語のまとめ」「過去問練習」
15	期末テスト（B 検模擬テスト形式で） 丁寧な解説と解答 総まとめ
16	CBT(Computer Based Testing)実践練習 パソコンルームにて
17	B 検ジョブパス 3 級 CBT 受験本番

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	IT エンジニア学科	
科目番号	103	科 目 名	写真編集			科目区分	兼任
科 目 群	一般教養	担当講師	坂上 恒之			履修区分	選択必修
開講学年	2	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書				参考書			
成績評価	平常点、試験（中間・期末）						

1. 授業概要

制作プロダクトのマネジメントについて

2. 到達目標

主に DTP の完成までの制作プロセスにおけるソフト間の連携（Adobe Illustrator と Photoshop）を学ぶ
--

3. 授業計画

後期	
1	デジタルフォトで撮影された各自作品をデータから作品へと仕上げる 1 調子の出し方
2	デジタルフォトで撮影された各自作品をデータから作品へと仕上げる 2 色の修正
3	デジタルフォトで撮影された各自作品をデータから作品へと仕上げる 3 シャープ・ぼかし等
4	各自の写真を使い PhotoShop の機能を使い加工する 1
5	各自の写真を使い PhotoShop の機能を使い加工する 2
6	フォトショップの新機能の紹介 1
7	フォトショップの新機能の紹介 2
8	組写真を作るにあたっての準備 1 リサイズ 解像度 色モードの知識
9	組写真を作るにあたっての準備 2 合成 レイアウト 見せ方の知識
10	イラストレータ フォトショップの連携 2
11	イラストレータ フォトショップの連携 3
12	組写真の作成（A3 ワンボードレイアウト） 1
13	組写真の作成（A3 ワンボードレイアウト） 2
14	組写真の作成（A3 ワンボードレイアウト） 3
15	組写真の作成（A3 ワンボードレイアウト） 4 期末課題提出
16	
17	

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	IT エンジニア学科
科目番号	104	科 目 名	技術英語			科目区分	兼任
科 目 群	一般教養	担当講師	増田孝博 他			履修区分	選択
開講学年	1	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書				参考書			
成績評価	平常点(出席 30%・授業態度+授業貢献度等 30%)60%、定期試験 40%						

1. 授業概要

英語コミュニケーション、IT 技術に関連する英語を学ぶ

2. 到達目標

英語でコミュニケーション、プレゼンテーション、IT 技術に関連する英語を学ぶ
--

3. 授業計画

前期	
1	クラス説明、自己紹介プレゼンを作る
2	自己紹介プレゼン
3	好きな映画を紹介・パソコン、インターネット単語
4	パソコン、インターネット単語
5	パソコン、インターネット単語・プレゼンを作る
6	プレゼンを作る
7	中間試験
8	パソコン、インターネット単語 2
9	基本会話練習・パソコン、インターネット単語 2
10	パソコン、インターネット単語 3
11	基本会話練習・パソコン、インターネット単語 3
12	インタビュー練習
13	インタビュー練習
14	インタビュー練習
15	期末試験対策
16	期末試験
17	期末試験説明、課題提出
後期	
1	パソコン、インターネット単語 4
2	基本会話練習・パソコン、インターネット単語 4
3	パソコン、インターネット単語 5
4	中間試験プレゼン内容を決める
5	中間試験プレゼンを作る
6	中間試験プレゼン練習
7	中間試験
8	基本会話練習・パソコン、インターネット単語 5
9	パソコン、インターネット単語 6
10	基本会話練習・パソコン、インターネット単語 6
11	ファイナルプレゼンテーションを作る
12	ファイナルプレゼンテーションを作る

1 3	ファイナルプレゼンテーションを作る
1 4	ファイナルプレゼンテーション練習
1 5	期末試験対策
1 6	期末試験
1 7	期末試験説明、課題提出

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	IT エンジニア学科
科目番号	105	科 目 名	外国語Ⅰ（日本語Ⅰ）			科目区分	兼任
科 目 群	一般教養	担当講師	佐藤康秀／下村宏行			履修区分	選択
開講学年	1	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	プリント教材			参考書	JLPT の N2～N3 問題集他		
成績評価	平常点(出席・授業態度・授業貢献度等) 30％、定期試験 70％、						

1. 授業概要

基礎力をつけ、中級文法、語彙を身に着け、日本語力全般を向上させる

2. 到達目標

日本語能力試験N3，N2に合格できる力をつける。

3. 授業計画

前期	
1	プレイスメントテスト（文字語彙・文法・読解）、アンケート
2	アカデミックジャパニーズ① 文法表現① 読解①
3	アカデミックジャパニーズ② 会話表現① 読解②
4	アカデミックジャパニーズ③ 漢字① 読解③
5	アカデミックジャパニーズ④ 漢字② 読解④ 聴解①
6	アカデミックジャパニーズ⑤ 漢字③ 読解⑤ 聴解②
7	中間試験
8	文字語彙① 文法表現② 読解⑥ テスト返却、答え確認 復習
9	文字語彙② 文法表現③ 読解⑦ 聴解③
10	文字語彙③ 文法表現④ 読解⑧ 聴解④
11	アカデミックジャパニーズ⑥ 文字語彙④ 文法表現⑤
12	アカデミックジャパニーズ⑦ 文字語彙⑤ 読解⑨
13	アカデミックジャパニーズ⑧ 文字語彙⑥ 文法表現⑥
14	アカデミックジャパニーズ⑨ 文字語彙⑦ 読解⑩
15	期末試験
後期	
1	期末テスト返却 答え確認 復習
2	文字語彙⑧ 文法表現⑦ 読解⑪
3	文字語彙⑨ 文法表現⑧ 読解⑫
4	文字語彙⑩ 文法表現⑨ 読解⑬
5	文字語彙⑪ 文法表現⑩ 読解⑭
6	文字語彙⑫ 文法表現⑪ 聴解⑤
7	中間試験
8	文字語彙⑬ 文法表現⑫ テスト返却、答え確認 復習
9	文字語彙⑭ 文法表現⑬ 読解⑮
10	文字語彙⑮ 文法表現⑭ 読解⑯
11	文字語彙⑯ 文法表現⑮ 読解⑰
12	文字語彙⑰ 文法表現⑯ 聴解⑥
13	文字語彙⑱ 文法表現⑰ 読解⑱
14	文字語彙⑲ 文法表現⑱ 聴解⑦
15	期末試験
16	期末試験
17	解説

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	IT エンジニア学科
科目番号	106	科 目 名	外国語Ⅱ（日本語Ⅱ）			科目区分	兼任
科 目 群	一般教養	担当講師	佐藤康秀			履修区分	選択
開講学年	2	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	プリント教材			参考書	JLPT の N1～N3 問題集、留学生用の就活テキスト他		
成績評価	平常点(出席・授業態度・授業貢献度等) 30％、定期試験 70％、						

1. 授業概要

中級レベルの日本語力を身に着け、日本語力全般を向上させる

2. 到達目標

日本語能力試験N2、N1に合格できる力をつける。就職や進学する際に必要な敬語が使える。

3. 授業計画

前期	
1	アカデミックジャパニーズ① 漢字① 敬語① 発話練習① アンケート
2	アカデミックジャパニーズ② 漢字② 敬語② 読解① 発話練習②
3	アカデミックジャパニーズ③ 漢字③ 宿題の答え合わせ（敬語、読解）
4	アカデミックジャパニーズ④ 漢字④ 敬語③ 読解② 発話練習③
5	アカデミックジャパニーズ⑤ 漢字⑤ 敬語④ 読解③ 文法表現①
6	アカデミックジャパニーズ⑥ 漢字⑥ 敬語⑤ 読解④
7	中間試験
8	文字語彙① 文法表現② 聴解① テスト返却、答え確認 復習
9	文字語彙② 文法表現③ 読解⑤ 聴解②
10	文字語彙③ 文法表現④ 読解⑥
11	アカデミックジャパニーズ⑦ 漢字⑦ 敬語⑥ 読解⑦ 発話練習④
12	アカデミックジャパニーズ⑧ 漢字⑧ 敬語⑦ 読解⑧ 発話練習⑤
13	アカデミックジャパニーズ⑨ 文字語彙④ 敬語⑧ 文法表現⑤
14	アカデミックジャパニーズ⑩ 文字語彙⑤ 文法表現⑥ 読解⑨
15	期末試験
後期	
1	期末テスト返却 答え確認 復習
2	文字語彙⑥ 文法表現⑦ 読解⑩
3	文字語彙⑦ 文法表現⑧ 聴解③
4	文字語彙⑧ 文法表現⑨ 読解⑪
5	文字語彙⑨ 文法表現⑩ 聴解④
6	文字語彙⑩ 文法表現⑪ 読解⑫
7	中間試験
8	文字語彙⑪ 文法表現⑫ テスト返却、答え確認 復習
9	文字語彙⑫ 文法表現⑬ 読解⑬
10	文字語彙⑬ 文法表現⑭ 読解⑭
11	文字語彙⑭ 文法表現⑮ 聴解⑤
12	文字語彙⑮ 文法表現⑯ 聴解⑥
13	文字語彙⑯ 文法表現⑰ 読解⑮
14	文字語彙⑰ 文法表現⑱ 読解⑯
15	期末試験
16	期末試験
17	解説

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	ITエンジニア学科
科目番号	107	科 目 名	一般教養講座Ⅰ			科目区分	兼任
科 目 群	一般教養	担当講師	沢田雄太・麻生裕之			履修区分	講義
開講学年	1 年	開講学期	前 期	単位数	2	授業形態	選択
教 科 書	プリント			参考書			
成績評価	各課題の成績と出席を総合評価。						

1. 授業概要

基礎学力の向上と就職試験対策を目的として、過去に学習した範囲の数学と漢字の復習を行います。また、新聞記事を読んで設問に答える新聞読解も行います。

2. 到達目標

就職試験の初歩的な教養問題が解ける。

3. 授業計画

前期			
1	漢字：読み取り・書き取り①	数学：式の計算	読売ワークシート
2	漢字：読み取り・書き取り②	数学：多項式と単項式の乗除	読売ワークシート
3	漢字：形が似ている漢字	数学：乗法公式	読売ワークシート
4	漢字：同音異義語・同訓異字	数学：因数分解	読売ワークシート
5	漢字：敬語表現・熟語	数学：平方根	読売ワークシート
6	漢字：類義語・対義語	数学：1次方程式	読売ワークシート
7	漢字：ことわざ・慣用句	数学：連立方程式	読売ワークシート
8	漢字：三字熟語・四字熟語	数学：2次方程式	読売ワークシート
9	漢字：音読み・訓読み①	数学：2次方程式の活用	読売ワークシート
10	漢字：間違いやすい漢字①	数学：1次関数	読売ワークシート
11	漢字：学習漢字の音訓	数学：関数 $y=ax^2$	読売ワークシート
12	漢字：熟語の成り立ち・読み方	数学：立体の表面積・体積	読売ワークシート
13	漢字：故事成語・名言格言	数学：平行線と角・相似	読売ワークシート
14	漢字：間違いやすい漢字②	数学：三平方の定理	読売ワークシート
15	漢字：まとめ	数学：まとめ	読売ワークシート
16			
17			

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	ITエンジニア学科	
科目番号	108	科 目 名	一般教養講座Ⅱ			科目区分	兼任
科 目 群	一般教養	担当講師	沢田雄太・麻生裕之			履修区分	講義
開講学年	1 年	開講学期	後 期	単位数	2	授業形態	選択
教 科 書	プリント			参考書			
成績評価	各課題の成績と出席を総合評価。						

1. 授業概要

基礎学力の向上と就職試験対策を目的として、過去に学習した範囲の数学と漢字の復習を行います。また、新聞記事を読んで設問に答える新聞読解も行います。

2. 到達目標

就職試験の初歩的な教養問題が解ける。

3. 授業計画

後期			
1	漢字：一字漢字の読み・書き①	数学：多項式の乗法・公式	読売ワークシート
2	漢字：一字漢字の読み・書き②	数学：式の展開・因数分解	読売ワークシート
3	漢字：一字漢字の読み・書き③	数学：根号を含む式の乗法	読売ワークシート
4	漢字：熟語の読み・書き①	数学：根号を含む式の計算	読売ワークシート
5	漢字：熟語の読み・書き②	数学：2次方程式とその解	読売ワークシート
6	漢字：熟語の読み・書き③	数学：2次方程式の解き方	読売ワークシート
7	漢字：複数の音読み・訓読み	数学：2次方程式の利用	読売ワークシート
8	漢字：誤りやすい読み・書き	数学：関数 $y = ax^2$ ・グラフ	読売ワークシート
9	漢字：同訓異字・同音異義語	数学：2次関数の変域・変化の割合	読売ワークシート
10	漢字：二字熟語	数学：放物線と直線	読売ワークシート
11	漢字：三字熟語	数学：相似な図形・相似の利用	読売ワークシート
12	漢字：四字熟語	数学：相似な図形の面積比・体積比	読売ワークシート
13	漢字：類義語	数学：円周角の定理・利用	読売ワークシート
14	漢字：対義語	数学：三平方の定理・利用	読売ワークシート
15	漢字：まとめ	数学：まとめ	読売ワークシート
16			
17			

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	IT エンジニア学科
科目番号	109	科 目 名	日本語講座Ⅰ			科目区分	専任
科 目 群	教養	担当講師	小野 恭子			履修区分	選択
開講学年	1	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	「日本語能力試験ドリル&模試」他			参考書	読解、聴解プリントおよびデジタル教材		
成績評価	試験 50%、小テスト 10%、課題 10%、プロジェクトワーク 20%、関心・意欲・態度 10%						

1. 授業概要

能力別クラスで日本語の言語知識（漢字・語彙・文法）を理解・習得し、読解・聴解等の応用力を養う。
オンライン教材での予習を前提とした授業です。

2. 到達目標

・能力別クラスでの Can-do リストに沿って、日本語の 4 技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）を伸ばし、総合的な日本語力を身に付ける。

3. 授業計画

前期	
1	オリエンテーション、Can-do 自己評価チェック、レベルチェックテスト（言語知識・読解）
2	予習：読解のコツ、漢字 W1、ミニ講座 1 自他動詞、レベルチェックテスト（聴解）
3	予習：読解第 1 回、漢字 W2、ミニ講座 2 複合動詞①、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
4	予習：聴解第 1 回、漢字 W3、ミニ講座 3 複合動詞②、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
5	予習：読解第 2 回、漢字 W4、ミニ講座 4 動詞、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
6	予習：聴解第 2 回、漢字 W5、ミニ講座 5 い形容詞、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
7	予習：読解第 3 回、漢字 W6、ミニ講座 6 な形容詞、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
8	予習：聴解第 3 回、漢字 W7、ミニ講座 7 副詞、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
9	予習：読解第 4 回、漢字 W8、ミニ講座 8 対義語①、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
10	中間テスト（JLPT 模試）
11	予習：聴解第 4 回、漢字 W1-2、ミニ講座 9 対義語②、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
12	予習：読解第 5 回、漢字 W3-4、ミニ講座 10 同義語、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
13	予習：聴解第 5 回、漢字 W5-6、ミニ講座 11 擬音語・擬態語、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
14	予習：読解第 6 回、漢字 W7-8、ミニ講座 12 カタカナ語、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
15	予習：読解第 6 回、ミニ講座 13 慣用句、スピーチ原稿ピア・リーディング ディクテ、ミニ講座タスク
16	期末テスト、Can-do 自己評価チェック
17	追再試、スピーチ発表

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	ITエンジニア学科
科目番号	110	科 目 名	日本語講座Ⅱ			科目区分	専任
科 目 群	教養	担当講師	小野 恭子			履修区分	選択
開講学年	1	開講学期	後期	単位数	2	授業形態.	講義
教 科 書	「日本語能力試験ドリル&模試」他			参考書	読解、聴解プリントおよびデジタル教材		
成績評価	試験 50%、小テスト 10%、課題 10%、プロジェクトワーク 20%、関心・意欲・態度 10%						

1. 授業概要

能力別クラスで日本語の言語知識（漢字・語彙・文法）を理解・習得し、読解・聴解等の応用力を養う。
オンライン教材での予習を前提とした授業です。

2. 到達目標

・能力別クラスでの Can-do リストに沿って、日本語の4技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）を伸ばし、総合的な日本語力を身に付ける。

3. 授業計画

後期	
1	予習：読解第1回、語彙 W1、ミニ講座1 接続表現、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
2	予習：聴解第1回、語彙 W2、ミニ講座2 文末表現①、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
3	予習：読解第2回、語彙 W3、ミニ講座3 文末表現②、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
4	予習：聴解第2回、語彙 W4、ミニ講座4 こと・もの、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
5	予習：読解第3回、語彙 W5、ミニ講座5 わけ・ところ、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
6	予習：聴解第3回、語彙 W6、ミニ講座6 条件、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
7	予習：読解第4回、語彙 W7、ミニ講座7 否定表現、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
8	予習：聴解第4回、語彙 W8、ミニ講座8 敬語①、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
9	予習：読解第5回、語彙 W1-2、ミニ講座9 敬語②、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
10	中間テスト（JLPT 模試）
11	予習：聴解第5回、語彙 W3-4、ミニ講座10 敬語③、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
12	予習：読解第6回、漢字 W5-6、ミニ講座11 総まとめ①、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
13	予習：聴解第6回、漢字 W7-8、ミニ講座12 総まとめ②、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
14	プロジェクトワーク：「学科紹介」ジグソー型で発表→入学前サポート説明会で新入生にも紹介
15	プレゼンテーション（冬休みの課題）：「出身国の行事紹介」
16	期末テスト、Can-do 自己評価チェック
17	追再試、補講

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	ITエンジニア
科目番号	111	科 目 名	国際コミュニケーション			科目区分	専任
科 目 群	教養	担当講師	増田 孝博			履修区分	選択
開講学年	2	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	演習
教 科 書				参考書			
成績評価	平常点 60% 課題 20% プレゼンテーション 20%						

1. 授業概要

異なる国、文化を理解し、社会で活用すべく、国際的なコミュニケーションを行う場を設け、積極的な相互理解を試みる。

2. 到達目標

日本人学生は、留学生たちの国・言語・文化などを知り、日本文化をより身近なものとして関してもらうためのスキルを身につける。留学生は、自国のことを日本語でよりわかりやすく伝えるためのスキルを身につける。

3. 授業計画

前期	
1	オリエンテーション
2	自己紹介：自分のことを紹介してみよう
3	自己紹介：自分の出身地を紹介してみよう
4	自己紹介：自国の文化を紹介してみよう
5	身近な日本文化について知ろう 小石川後樂園
6	レポート発表 1
7	レポート発表 2（中間試験）
8	グループディスカッション 1
9	グループディスカッション 2
10	グループディスカッション 3
11	グループディスカッション 4
12	中間レポート発表
13	1対1コミュニケーション 1
14	1対1コミュニケーション 2
15	1対1コミュニケーション 3
16	1対1コミュニケーション 4
17	最終レポート発表（期末試験）
後期	
1	スピーチコンテスト準備
2	スピーチコンテスト準備
3	スピーチコンテスト準備
4	スピーチコンテスト準備
5	スピーチコンテスト
6	スピーチコンテスト
7	スピーチコンテストレビュー 1
8	スピーチコンテストレビュー 2

9	日本文化について知ろう 能の世界 1
1 0	日本文化について知ろう 能の世界 2
1 1	日本文化について知ろう 能の世界 3
1 2	レポート発表
1 3	世界の文化を知ろう 1
1 4	世界の文化を知ろう 2
1 5	世界の文化を知ろう 3
1 6	世界の文化を知ろう 4
1 7	レポート発表

科目の教育目標・授業計画「2025 年度」					学 科 名	IT エンジニア学科	
科目番号	112	科 目 名	社会人教養講座Ⅰ		科目区分	兼任	
科 目 群	教養	担当講師	天野 誠一		履修区分	選択	
開講学年	1、2 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	使用しない			教材・参考資料 適宜、資料配布			
成績評価	課題提出その他						

1. 授業概要

この講座では、社会人として第一歩を踏み出すに必要な、働くことの意味について次のテーマに従って分かりやすく解説します。

1) 労働法とは何か、2) 働き始める前に知っておかなければならないこと、3) 働くときのルール、4) 仕事を辞めるとき、辞めさせられるとき、5) 就職の仕組みに関して

講義は、講師側が一方的に話をして終わりという形ではなく、皆さんにも一緒に考えてもらい、質問も遠慮なくしていただきます。

2. 到達目標

正しい情報をつかみ、判断力を養う。自分の考えをまとめ、積極的に発信していく。社会人としての教養を身につける。

3. 授業計画

前期 1	2024 年年はどういう年か。世界の人口は 80 億人。地球の誕生から。 人類の誕生から
2	世界の課題①地球温暖化 脱炭素 カーボンニュートラル
3	日本の課題①人口減少世界一 このままだと人口が半減する 少子高齢化
4	世界の課題②生物多様性の危機 絶滅危惧種 SDG s
5	日本の課題②エネルギー基本計画 化石燃料を使わない 原発は
6	日本の課題③東京一極集中 消滅する地方
7	世界の課題③防衛 地政学的な問題 ウクライナ ガザ
8	日本の課題④政治とカネ 政治資金規正法 民主主義
9	働くということ 1 残業は必要なのか 最低賃金とは
1 0	働くということ 2 正規か非正規か 働き方改革
1 1	働くということ 3 失業したら 仕事でけがをしたら
1 2	働くということ 4 万一解雇されたら
1 3	作文演習
1 4	作文演習
1 5	まとめ 日本の未来

科目の教育目標・授業計画「2025 年度」						学 科 名	IT エンジニア学科
科目番号	113	科 目 名	社会人教養講座Ⅱ			科目区分	兼任
科 目 群	教養	担当講師	天野 誠一			履修区分	選択
開講学年	1、2 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	使用しない			教材・参考資料 適宜、資料配布			
成績評価	課題提出その他						

1. 授業概要

この講座では、社会の仕組み、そして今の日本が抱える諸課題について分かり易く説明するとともに、皆さんが学んだ専門知識や技術を存分に活用し、有意義な社会生活を送って行くために必要なノウハウを、アドバイスしていきます。

また、消費者教育として、個人の消費行動とそこの起こるトラブルについて認識し、新しいライフスタイルを主体的に選択し、創造できるようにする。

2. 到達目標

正しい情報をつかみ、判断力を養う。自分の考えをまとめ、積極的に発信していく。社会人としての教養を身につける。

3. 授業計画

後期 1	総論 人類の歴史 宇宙の歴史 物の見方 新しい動き
2	3つの危機 温暖化 多様性 人口減少
3	税金、年金、健康保険 知らないと損をする。
4	新聞の役割 社会に欠かせないもの リアルな現場に真実がある
5	犯罪と日本の警察
6	会社の選び方 いい会社と悪い会社
7	自己アピールの方法 面接の心構え エントリーシート
8	消費者トラブル ネット犯罪
9	著作権と AI 個人情報
1 0	危機管理の重要性 いざとなったらどうするのか 失敗から学ぶ ミスの原因 メモをとる
1 1	食の未来 食料自給率 有機農業
1 2	社会の仕組み IT 企業の戦略
1 3	作文演習 民主主義と選挙
1 4	作文演習 情報の信頼性 正しい情報はどこから得られるか
1 5	全体まとめ 世界の未来は

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	IT エンジニア学科
科目番号	201	科 目 名	コンピュータ概論			科目区分	専任
科 目 群	総合科目	担当講師	増田 孝博			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	情報処理試験合格へのパスポート コンピュータ概論			参考書：基本情報技術者試験科目 A 対策 Web トレーニング			
成績評価	平常点 3・定期試験 7						

1. 授業概要

基本情報技術者試験科目 A における、テクノロジー分野、基礎理論からコンピュータシステムに関する知識を習得する。

2. 到達目標

基本情報技術者試験科目 A における、テクノロジー分野、基礎理論からコンピュータシステムに関する知識を習得する。

3. 授業計画

前期	
1	離散数学
2	情報に関する理論
3	通信に関する理論
4	プロセッサ
5	メモリ
6	バス
7	入出力デバイス
8	入出力装置
9	オペレーティングシステム
10	ミドルウェア
11	ファイルシステム
12	開発ツール
13	オープンソースソフトウェア
14	ハードウェア
15	マルチメディア技術
16	マルチメディア応用
17	期末試験

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	I Tエンジニア学科
科目番号	202	科 目 名	マネジメントと情報化			科目区分	専任 実務教員
科 目 群	専門科目	担当講師	鳥羽弘康			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	I T戦略とデータ利活用			参考書			
成績評価	中間試験 40%、期末試験 40%、確認テスト 10%、学習の取り組み(欠席、遅刻、受講態度)10%						

1. 授業概要

基本情報処理技術者試験 A-マネジメント領域-の試験範囲のうち、企業経営の基礎と、経営管理に用いられている分析手法と管理手法、ならびに、企業における業務を支援する情報システムについて学ぶ。

2. 到達目標

基本情報処理技術者試験 A-マネジメント領域-試験範囲の基礎知識を身につける。また、情報処理技術者資格、ならびに、IT パスポート資格、のいずれかの資格の取得に向けた受験計画を立案する。

3. 授業計画

後期	
1	ガイダンス 企業の経営プロセス、企業の目的、ステークホルダー
2	企業の経営計画立案プロセス、企業のコアコンピテンス、バリューチェーン、経営計画
3	企業と経営戦略、企業活動、経営戦略手法
4	マーケティング、ビジネス戦略、技術開発戦略
5	企業におけるシステム戦略、情報システムの活用
6	システム企画、ビジネスインダストリ、e-ビジネス
7	組込みシステム、民生機器・産業機器、AI利活用、中間試験
8	マネジメント、プロジェクトマネジメント
9	プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント
10	サービスマネジメントシステムの計画と運用、システム監査
11	応用数学、確率、統計、行列演算
12	オペレーションズリサーチ・インダストリアルエンジニアリング
13	データ利活用
14	企業会計、財務諸表
15	知的財産権、セキュリティ関連法規、労働法
16	その他の法規、情報倫理、標準化
17	期末試験

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	ITエンジニア学科
科目番号	203	科 目 名	システム開発技術			科目区分	専任 実務教員
科 目 群	専門科目	担当講師	鳥羽弘康			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	システム開発と情報技術			参考書			
成績評価	中間試験 40%、期末試験 40%、確認テスト 10%、学習の取り組み(欠席、遅刻、受講態度)10%						

1. 授業概要

基本情報処理技術者試験 A-テクノロジー領域-の試験範囲のうち、システム開発のソフトウェア技術者にとって必須の知識である、データベース、ネットワーク、情報セキュリティの三領域の技術について学ぶ

2. 到達目標

基本情報処理技術者試験 A-テクノロジー領域-試験範囲の基礎知識を身につける。また、情報処理技術者資格、ならびに、IT パスポート資格、のいずれかの資格の取得に向けた受験計画を立案する。

3. 授業計画

後期	
1	講義ガイダンス、データベース概要、データのモデル化
2	データベース設計、データの正規化
3	SQL の基本 (1) SELECT 文
4	SQL の基本 (2) INSERT 文、UPDATE 文、DELETE 文、ALTER TABLE 文
5	SQL の応用 複問い合わせ、結合、集合演算
6	データベース管理システム トランザクション管理、同時実行管理
7	データベース応用 分散データベース、障害回復
8	中間試験 第1回から第7回の内容を試験範囲とする
9	ネットワーク方式
10	OS I 基本参照モデル、TCP/IP プロトコル
11	IP アドレス、ネットワーク管理
12	TCP/IP アプリケーション
13	ネットワーク応用技術
14	情報セキュリティ、システムへの攻撃手法
15	暗号化技術、認証技術
16	セキュリティ技術、セキュリティリスク
17	期末試験 第9回から第16回の内容を試験範囲とする

科目の教育目標・授業計画 「2025年度」					学 科 名	IT エンジニア学科	
科目番号	204	科 目 名	Web 基礎 I			科目区分	兼任
科 目 群	専門科目	担当講師	加藤 資寿			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	演習
教 科 書	Web クリエイター能力認定試験 HTML5 対応 エキスパート 公式 テキスト			参考書			
成績評価	平常点(出席率・授業態度・理解度等)、定期試験、提出作品						

1. 授業概要

Web コンテンツ制作の基本となる HTML・CSS の記述方法を学び、コーディングスキルを習得する。

2. 到達目標

データを整理し HTML・CSS を用いて Web コンテンツを作成することができるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス World Wide Web 技術とは？
2	HTML の文法理解
3	HTML タグの利用について
4	HTML による文書構造 段落 見出し
5	画像の利用
6	CSS によるスタイルの記述方法
7	CSS セレクタ クラス ID タグの再定義について
8	中間考査
9	自己紹介・プロフィール作成 Web ページ制作実習 1
10	自己紹介・プロフィール作成 Web ページ制作実習 2
11	ブロック要素 インライン要素の違い
12	CSS によるブロックレイアウト
13	マージン パディング ボーダー によるサイズ調整
14	クライアントサイドプログラミング
15	演習課題 ポートフォリオの作成
16	演習課題 ポートフォリオの作成
17	期末考査

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	IT エンジニア学科
科目番号	205	科 目 名	Web 基礎Ⅱ			科目区分	兼任
科 目 群	専門科目	担当講師	加藤 資寿			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	演習
教 科 書				参考書			
成績評価	平常点(出席率・授業態度・理解度等)、定期試験、提出作品						

1. 授業概要

JavaScript を使った動的な Web ページの作成方法を学ぶ

2. 到達目標

基本的なノード操作や属性操作手法を学び、最終的に form の UX 向上につながるバリデーションを実装できるようにする
--

3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス クライアントサイドスクリプトとは
2	JavaScript の利用法 <script>
3	JavaScript シンタックス
4	定数と変数の利用 const 定数と let var 変数。ブロックスコープ
5	分岐・繰り返し処理 if/for
6	Function の利用
7	イベント処理
8	Document.getElementById()、Document.querySelectorAll()
9	DOM : Document Object Model、node 操作
10	setAttribute・getAttribute。テキストの動的操作
11	オブジェクトリテラル
12	JSON オブジェクト
13	正規表現による値検証
14	実習：form のバリデーション
15	実習：form のバリデーション
16	制作発表
17	制作発表

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	I Tエンジニア学科
科目番号	206	科 目 名	プログラミング I			科目区分	専任 実務教員
科 目 群	専門科目	担当講師				履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	6	授業形態	演習
教 科 書	Python プログラミング			参考書			
成績評価	中間試験 35%、期末試験 35%、確認テスト 20%、学習の取り組み(欠席、遅刻、受講態度)10%						

1. 授業概要

プログラミング言語として Python を選び、プログラミングの初歩として Python の文法を座学を通して学び、モジュールの作成法、モジュールの実行法を、簡単なプログラムを作成する演習を通して習得する。

2. 到達目標

Python の文法の内、文の意味と構文、式（文）の意味と演算子、データの分類、関数の意味と構文を理解し、説明できる。Python のモジュールを作成し、データを入力し、整数型、実数型、文字型などのデータを扱って、算術演算や比較演算を行い、条件判断し、計算結果を出力し、繰り返しを使う処理を行い、これらに関数として定義して、定義した関数を呼び出すプログラムを作成し、実行できる。基本情報処理技術者試験の Python の簡単な問題を解くことができる水準の知識を身につける。

3. 授業計画

前期	
1	講義ガイダンス、Python 概要
2	Python 文法概要、対話モードでの計算
3	演算子の優先順位
4	変数を使ったプログラム、標準入力
5	データ型、関数とメソッドの呼び出し方
6	条件分岐の構文、if、条件式、比較演算子
7	中間試験 第1回から第7回講義の内容を試験範囲とする。
8	条件分岐の構文、else 節、elif 節、if 文のネスト
9	ブール演算子による複雑な条件式
10	繰り返しとは、リスト、for 文
11	range と for 文の組み合わせ、多重ループ
12	while 文、繰り返しの応用
13	コレクション、コレクションとは、リスト、タプル
14	辞書、集合
15	内包表記、zip 関数、シーケンス演算
16	関数（1）独自の関数を作る、関数定義、戻り値を返す関数
17	期末試験 第9回から第16回講義の内容を試験範囲とする。

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	I Tエンジニア学科	
科目番号	207	科 目 名	プログラミングⅡ		科目区分	専任 実務教員	
科 目 群	専門科目	担当講師			履修区分	必修	
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	6	授業形態	演習
教 科 書	Python プログラミング			参考書			
成績評価	中間試験 35%、期末試験 35%、確認テスト 20%、学習の取り組み(欠席、遅刻、受講態度)10%						

1. 授業概要

プログラミング言語として Python を選び、Python の文法の内、関数の応用としてイテレータ、ジェネレータ、デコレータを座学を通して学ぶ他、クラスの定義、メソッドの定義、クラスの継承を座学を通して学び、簡単なプログラムを作成する演習を通して、オブジェクト指向プログラミングの基礎を習得する。

2. 到達目標

Python の文法の内、関数の応用としてイテレータ、ジェネレータ、デコレータを理解し説明できる。クラスの定義、メソッドの定義、クラスの継承を理解し、オブジェクト指向プログラミングの基礎を説明できる。Python のいくつかの便利なライブラリの内容を理解し説明できる。データ分析に利用される主要な外部ライブラリをインストールし、これらを利用する Python のモジュールを作成し、実行できる。基本情報処理技術者試験の Python の簡単な問題を解くことができる水準の知識を身につける。

3. 授業計画

後期	
1	関数（2） ローカル変数とグローバル変数、関数の引数
2	関数（3） 関数オブジェクト、イテレータとジェネレータ
3	関数（4） デコレータ
4	クラス（1）クラス・オブジェクトとは、クラスとインスタンス、メソッドの定義
5	クラス（2）インスタンスを必要としない変数とメソッド、継承
6	クラス（3）多重継承
7	クラス（4）特殊メソッド、モジュール
8	中間試験 第1回から第7回の講義内容から出題する
9	ファイル操作 ファイル操作の基本、ファイルへの書き込み
10	モジュールを利用したファイル操作
11	例外処理 構文エラーと例外、try except 文
12	ライブラリの利用 ライブラリとは、日時を扱うライブラリ
13	数学計算を扱うライブラリ math モジュール、random モジュール
14	外部ライブラリのインストール インストール方法と外部ライブラリを活用した計算
15	グラフ描画（1） 外部ライブラリを利用したグラフ描画
16	グラフ描画（2） グラフ描画演習
17	期末試験 第9回から第16回の講義内容から出題する

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	IT エンジニア学科
科目番号	208	科 目 名	Web デザイン概論			科目区分	専任
科 目 群	専門科目	担当講師	菊川陽子			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	Web クリエイター能力認定試験 HTML5 対応エキスパート公式テキスト			参考書			
成績評価	平常点 10%、定期試験 60%、発表・提出課題 30%						

1. 授業概要

Web デザイン制作において関連する用語やデザインする際に考えるべき効果的な 色・形・文字・レイアウトなどについての基礎的な知識を学習し、それをベースに Web サイト制作演習に活かす。

2. 到達目標

Web デザインに関する用語や内容を学び、実習制作に活かすことができる

3. 授業計画

前期	
1	Web・デザイン用語説明
2	Web・デザイン用語説明
3	色彩基礎知識・配色
4	色彩基礎知識・配色
5	言葉のイメージを可視化する②
6	言葉のイメージを可視化する①
7	中間試験
8	文字・タイポグラフィ・書体について①
9	文字・タイポグラフィ・書体について② Web フォント
10	Web サイトコンセプトメイキング・プランニング
11	Web サイトコンセプトメイキング・プランニング
12	Web サイトの構成ワイヤーフレーム
13	ワイヤーフレームとデザインカンパ作成
14	アクセシビリティ・ユーザビリティについて
15	期末試験対策
16	期末試験
17	課題提出、試験解説

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	IT エンジニア学科
科目番号	209	科 目 名	Web デザイン演習 I			科目区分	専任 実務教員
科 目 群	専門科目	担当講師	菊川陽子			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	演習
教 科 書	Web クリエイター能力認定試験 HTML5 対応エキスパート公式 テキスト			参考書			
成績評価	平常点 10%、定期試験 60%、提出課題 30%						

1. 授業概要

Web デザイン制作に関連する画像編集グラフィックソフト Photoshop の基本操作を習得し Web 用画像素材を作成。
Dreamweaver を使用し、Web ページの基本の html5、CSS コーディングを習得する。

2. 到達目標

写真素材等を WEB 掲載用に加工、Web サイトのパーツ、アイコン等の作成ができ、基本的な WEB ページのコーディングができる

3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス:基礎知識と用語確認(ビットマップとベクトル、ファイル形式、単位等) Photoshop 基本操作(選択範囲作成ツール・クイックマスク・レイヤーマスク・アルファチャンネル等)、画像合成
2	Photoshop:基本操作 写真の調整、画像の合成、文字操作
3	Photoshop:基本操作 写真の調整、画像の合成、文字操作、バナー制作
4	Photoshop:基本操作 バナー制作
5	Photoshop:基本操作 写真リサイズ・トリミング アイコンを作成
6	Photoshop:Web 用パーツの作成(タイトル画像・ナビゲーション用ボタン画像等を作成する)
7	中間試験
8	Dreamweaver-html 文章をマークアップする (html の構造、タグを覚える)
9	Dreamweaver-html 文章をマークアップする (html の構造、タグを覚える)
10	Dreamweaver-html 文章をマークアップする (html の構造、タグを覚える)
11	Dreamweaver-CSS 基本 (CSS プロパティと値について)
12	Dreamweaver-CSS 基本 (CSS プロパティと値について)
13	Dreamweaver-マークアップした html ファイルにスタイルシートを使用してレイアウトする
14	Dreamweaver-マークアップした html ファイルにスタイルシートを使用してレイアウトする
15	期末試験対策
16	期末試験
17	試験解説、課題提出

科目の教育目標・授業計画 「2025年度」						学 科 名	IT エンジニア学科
科目番号	210	科 目 名	Web デザイン演習Ⅱ			科目区分	専任 実務教員
科 目 群	専門科目	担当講師	菊川陽子			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	演習
教 科 書	フレキシブルボックスで作る HTML5&CSS3 レッスンブック			参考書			
成績評価	平常点 20%、定期試験 40%、提出課題 40%						

1. 授業概要

html・CSS 基本知識、Dreamweaver の基本操作習得とレスポンシブ Web デザインについて学ぶ

2. 到達目標

前期～後期を通して学んだ画像の編集・作成からレイアウトを考えコーディングし、基本的な WEB ページのデザイン作成とコーディングができる

3. 授業計画

後期	
1	入力フォームページ作成①／レスポンシブ Web デザイン
2	入力フォームページ作成②／レスポンシブ Web デザイン
3	横並びカラムレイアウト ①(フレキシブルボックス使用)／レスポンシブ Web デザイン
4	横並びカラムレイアウト② (グリッドレイアウト)／レスポンシブ Web デザイン
5	CSS : position、等／レスポンシブ Web デザイン
6	CSS:アニメーション／レスポンシブ Web デザイン
7	中間試験
8	Photoshop ベクトルマスク～商品一覧ページ作成／レスポンシブ Web デザイン
9	Photoshop ベクトルマスク～商品一覧ページ作成／レスポンシブ Web デザイン
10	レスポンシブ Web デザイン
11	ポートフォリオサイト制作①レスポンシブ Web デザイン
12	ポートフォリオサイト制作②
13	ポートフォリオサイト制作③
14	ポートフォリオサイト制作④
15	ポートフォリオサイト制作⑤ 課題発表・提出 (期末課題)
16	講評
17	講評

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	IT エンジニア学科
科目番号	211	科 目 名	グラフィック基礎			科目区分	専任
科 目 群	専門科目	担当講師	菊川陽子			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	6	授業形態	演習
教 科 書	なし			参考書	配布資料（随時）		
成績評価	平常点 10%、定期試験 45%、提出課題 45%						

1. 授業概要

Illustrator の基本操作を身につける。基礎造形では色彩の基礎知識、イメージを具象化するための描写力を学び、制作に応用できる表現力を学ぶ。

2. 到達目標

Web やアプリ、印刷やムービー等、様々なメディアのコンテンツに応用できるグラフィックの制作ができる

3. 授業計画

前期	
1	【Illustrator】ガイドンス、ベクトルとビットマップ、色(RGBとCMYK)について、塗りと線、基本図形ツール 配色、重ね順、基本図形の描き方、直線描画 ※基本図形を使ったイラスト 【基礎造形】色について/色の三原色 実習・塗り分けによる構成を制作し、構成の意味を理解する
2	【Illustrator】パスファインダー、整列、回転、リフレクト、レイヤー 【基礎造形】色について/色の三原色 実習・塗り分けによる構成を制作し、構成の意味を理解する
3	【Illustrator】ベジェ曲線による描画 ※時計のデザイン制作 【基礎造形】色について/色相・彩度・明度を理解する
4	【Illustrator】グラデーション、ブレンド、アピアランスの概念 【基礎造形】色について/色相・彩度・明度を理解する
5	【Illustrator】文字の操作、地図作成 【基礎造形】配色(同時対比 隣り合う色の影響)
6	【Illustrator】地図作成 【基礎造形】配色(同時対比 隣り合う色の影響)
7	中間試験
8	【Illustrator】WEB 用素材やイメージ制作 【基礎造形】色彩構成課題
9	【Illustrator】WEB 用素材やイメージ制作 【基礎造形】色彩構成課題
10	【Illustrator】印刷物制作 【基礎造形】色彩構成課題
11	【Illustrator】印刷物制作 【基礎造形】ドローイング・基本形体の描写:立方体・円筒)
12	【Illustrator】キャラクターデザイン制作 【基礎造形】ドローイング・基本形体の描写:立方体・円筒)
13	【Illustrator】キャラクターデザイン制作 【基礎造形】ドローイング・基本形体の描写:立方体・円筒)
14	【Illustrator】キャラクターデザイン制作 【基礎造形】ドローイング・自分の持ち物
15	期末試験対策・課題制作
16	期末試験・課題提出
17	講評

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	IT エンジニア学科
科目番号	212	科 目 名	ディジタルフォト			科目区分	兼任
科 目 群	専門科目	担当講師	坂上恒之			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	4	授業形態.	演習
教科書	写真の教科書（株）インプレス			参考書 配布資料（随時）			
成績評価	平常点 60%、定期試験 60%、提出課題 60%						

1. 授業概要

撮影現場の経験と写真加工の実際、現場における写真の重要性を学ぶ。

2. 到達目標

一眼レフカメラで Web ページで使用する写真の撮影ができる。Photoshop による写真の加工ができる。

3. 授業計画

前期	
1	カメラの基礎構造（カメラの仕組み、歴史からデジタルへ）
2	絵作りの基礎（構図等）
3	画像編集ソフトの使い方、データの種類、保存形式
4	校外撮影実習
5	データ仕上げ（提出課題）講評
6	商品撮影実習（大型ストロボの知識）
7	データ仕上げ（提出課題）講評
8	中間試験 実技（大型ストロボの操作、露出の取り方）
9	人物撮影（大型ストロボに慣れる）ライティング
10	人物データをまとめる
11	PhotoShop でのデータ加工
12	校外撮影実習
13	データ仕上げ
14	データ仕上げ提出課題、期末試験対策
15	期末テスト（筆記）
16	試験解説・課題講評
17	試験解説・課題講評

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	IT エンジニア学科
科目番号	213	科 目 名	動画編集			科目区分	兼任
科 目 群	専門科目	担当講師	大和 拓			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	演習
教 科 書				参考書	配布資料（随時）		
成績評価	平常点 40%、定期試験 30%、提出課題 30%						

1. 授業概要

主に After Effects を使って短い動画を作り、ストリーミング配信用のコンテンツ作りの基本を学習する

2. 到達目標

After Effects、Adobe Premiere を使用し基本的なアニメーションの作成・動画編集とその操作ができるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	After Effects の基本操作解説。
2	時計を回してみる。
3	踊る名前。
4	観覧車をデザインしてみよう。
5	観覧車を回してみる。
6	走る動物をデザインする。
7	動物を走らせる。（中間課題提出）
8	惑星と衛星。
9	直方体を組み立てる。
10	架空のテレビ番組の企画を作ろう。
11	架空のテレビ番組のオープニングを作ろう。
12	架空のテレビ番組のオープニングを作ろう続き。
13	How Too ムービーを編集する練習。
14	How Too ムービーを作る。
15	コマドリアニメーションを作る。
16	期末試験
17	期末試験講評

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	I Tエンジニア学科
科目番号	214	科 目 名	資格対策 I			科目区分	専任
科 目 群	総合科目	担当講師	鳥羽弘康			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	コンピュータ概論			参考書: I T戦略とデータの利活用、システム開発と情報技術			
成績評価	模擬試験 40%、学習の取り組み(欠席、遅刻、受講態度)60%、但し指定資格取得の場合 100 点						

1. 授業概要

基本情報処理技術者資格試験の過去問題の演習を実施し、基本情報処理技術者試験 A の試験合格水準の知識を身につける。また、情報処理技術者資格、ならびに、IT パスポート資格、のいずれか資格の取得に向けた受験計画を立案し受験する。就職試験 (SPI・CAB・GAB) の準備や、就職支援も併せて進める。

2. 到達目標

基本情報処理技術者試験 A の試験合格水準の知識を身につける。また、情報処理技術者資格、ならびに、IT パスポート資格、のいずれかの資格の取得に向けた受験計画を立案し、受験することを目標とする。

3. 授業計画

後期	
1	ガイダンス、マネジメントと情報化補講第 1 回、基本情報処理技術者 修了認定模擬試験第 1 回
2	マネジメントと情報化補講第 2 回、基本情報処理技術者 修了認定模擬試験第 2 回
3	マネジメントと情報化補講第 3 回、基本情報処理技術者 修了認定模擬試験第 3 回
4	マネジメントと情報化補講第 4 回、基本情報処理技術者 修了認定模擬試験第 4 回
5	マネジメントと情報化補講第 5 回、基本情報処理技術者 修了認定模擬試験第 5 回
6	マネジメントと情報化補講第 6 回、基本情報処理技術者 修了認定模擬試験第 6 回
7	マネジメントと情報化補講第 7 回、基本情報処理技術者 修了認定模擬試験第 7 回
8	マネジメントと情報化補講第 8 回、基本情報処理技術者 修了認定模擬試験第 8 回
9	フォローアップ、自己分析、受験計画
10	コンピュータ概論補講第 1 回
11	コンピュータ概論補講第 2 回
12	コンピュータ概論補講第 3 回
13	コンピュータ概論補講第 4 回、基本情報処理技術者 修了認定模擬試験第 9 回
14	コンピュータ概論補講第 5 回
15	コンピュータ概論補講第 6 回、基本情報処理技術者 修了認定模擬試験第 10 回
16	コンピュータ概論補講第 7 回
17	フォローアップ、自己分析、受験計画、受験活動の振り返り

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	I Tエンジニア学科
科目番号	215	科 目 名	資格対策Ⅱ			科目区分	専任、兼任
科 目 群	総合科目	担当講師	鳥羽、西畠			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	システム開発と情報技術			参考書:コンピュータ概論、I T戦略とデータ利活用			
成績評価	模擬試験 40%、学習の取り組み(欠席、遅刻、受講態度)60%、但し指定資格取得の場合 100 点						

1. 授業概要

基本情報処理技術者資格試験の過去問題の演習を実施し、基本情報処理技術者試験 A の試験合格水準の知識を身につける。また、情報処理技術者資格、ならびに、IT パスポート資格、のいずれか資格の取得に向けた受験計画を立案し受験する。就職試験（SPI・CAB・GAB）の準備や、就職支援も併せて進める。

2. 到達目標

基本情報処理技術者試験 A の試験合格水準の知識を身につける。また、情報処理技術者資格、ならびに、IT パスポート資格、のいずれかの資格の取得に向けた受験計画を立案し、受験することを目標とする。

3. 授業計画

前期	
1	講義ガイダンス、コンピュータ概論補講第 1 回
2	コンピュータ概論補講第 2 回、基本情報処理技術者 修了認定模擬試験第 1 回
3	システム開発技術補講第 1 回、基本情報処理技術者 修了認定模擬試験第 2 回
4	データサイエンス特別授業（1）
5	システム開発技術補講第 2 回、基本情報処理技術者 修了認定模擬試験第 3 回
6	システム開発技術補講第 3 回、基本情報処理技術者 修了認定模擬試験第 4 回
7	システム開発技術補講第 4 回、基本情報処理技術者 修了認定模擬試験第 5 回
8	基本情報処理技術者 修了認定模擬試験第 6 回
9	第 1 回基本情報処理技術者 修了認定試験フォローアップ、自己分析、受験計画
10	データサイエンス特別授業（2）
11	システム開発技術補講第 5 回、基本情報処理技術者 修了認定模擬試験第 7 回
12	システム開発技術補講第 6 回、基本情報処理技術者 修了認定模擬試験第 8 回
13	システム開発技術補講第 7 回、基本情報処理技術者 修了認定模擬試験第 9 回
14	システム開発技術補講第 8 回、基本情報処理技術者 修了認定模擬試験第 10 回
15	システム開発技術補講第 9 回、基本情報処理技術者 修了認定模擬試験第 11 回
16	基本情報処理技術者 修了認定模擬試験第 12 回
17	第 2 回基本情報処理技術者 修了認定試験フォローアップ、自己分析、受験活動の振り返り

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	I Tエンジニア学科
科目番号	0216	科 目 名	セキュリティマネジメント			科目区分	専任 実務家教員
科 目 群	専門科目	担当講師				履修区分	選択
開講学年	2 年	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	マネジメントと情報化			参考書			
成績評価	中間試験 35%、期末試験 35%、確認テスト 20%、学習の取り組み(欠席、遅刻、受講態度)10%						

1. 授業概要

情報セキュリティマネジメントシステムについて学び、安全な情報活用方法を身につける
--

2. 到達目標

情報セキュリティマネジメントの目的を理解する。情報セキュリティマネジメントシステムに関する規格、法令、制度に関する基礎知識をつける。
--

3. 授業計画

後期	
1	ガイダンス、情報資産
2	情報セキュリティの目的
3	システムへの攻撃者の種類、システムへの攻撃手法（1）
4	システムへの攻撃手法（2）
5	暗号化技術
6	認証技術（1）
7	認証技術（2）
8	中間試験 第1回～第7回講義内容を試験範囲とする
9	利用者認証
10	セキュアプロトコル
11	不正アクセス対策
12	ウイルス対策
13	セキュリティリスク
14	セキュリティ管理（1）
15	セキュリティ管理（2）
16	セキュリティ管理（3）
17	期末試験 第9回～第16回講義内容を試験範囲とする

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	IT エンジニア学科	
科目番号	217	科 目 名	システム開発ゼミ			科目区分	専任
科 目 群	専門科目	担当講師	増田 孝博			履修区分	選択
開講学年	2	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	演習
教 科 書				参考書			
成績評価	平常点 30% 提出物 70%						

1. 授業概要

システム開発を企画から開発、試験運用、発表までを通年でおこなう。

2. 到達目標

現状の課題を克服するために必要とされるシステムを、企画から開発、発表まで行うことで、実践力を身につける。

3. 授業計画

前期	
1	企画立案
2	企画立案
3	企画書制作
4	企画書制作
5	要件定義
6	要件定義
7	仕様書作成
8	仕様書作成
9	企画発表
10	プログラム仕様計画
11	プログラム仕様作成
12	プロトタイピング
13	プロトタイピング
14	プロトタイピング
15	プロトタイピング
16	プロトタイピング
17	中間発表
後期	
1	問題提起
2	仕様確認
3	システム再設計
4	開発・テスト
5	開発・テスト
6	開発・テスト
7	開発・テスト
8	開発・テスト
9	開発・テスト
10	開発・テスト
11	開発・テスト

1 2	開発・テスト
1 3	開発・テスト
1 4	発表資料準備
1 5	発表資料準備
1 6	発表リハーサル
1 7	成果発表

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	I Tエンジニア学科
科目番号	301	科 目 名	モバイルプログラミング			科目区分	専任 実務教員
科 目 群	総合科目	担当講師				履修区分	選択必修
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態.	実習
教 科 書	Kivy プログラミング			参考書 Python プログラミング			
成績評価	中間試験 35%、期末試験 35%、確認テスト 20%、学習の取り組み(欠席、遅刻、受講態度)10%						

1. 授業概要

クロスプラットフォーム GUI フレームワーク Kivy を利用してモバイルアプリケーションを作成し、モバイルデバイスで動作するアプリケーション作成法の基礎を学ぶ

2. 到達目標

モバイルデバイスで動作するアプリケーションの作成法を理解する

3. 授業計画

前期	
1	モバイルプログラミング概要、Python インタプリタの使用法
2	Python の文法概要、Python モジュールの構造、Python モジュールの作成、モジュールの実行
3	クラスの概要、データの宣言法、データの宣言、数値を扱う数値型と演算
4	クラスの構成要素、文字型の演算、コンソール窓へのデータの表示
5	クラスのメソッド、コレクションの演算、コレクションへのデータ設定、キーボード入力
6	条件分岐、比較演算子と論理演算子、if 構文、if else 構文、if elif else 構文
7	中間試験 第1回から第6回までの講義内容を試験範囲とする
8	繰り返し処理の流れの制御、for 構文とイテレータによる繰り返し処理
9	文字列・リスト・タプルを使う繰り返し処理、内包表記によるコレクションの生成
10	関数の定義と呼び出し方、無名関数、引数と変数のスコープ
11	クラスの定義、クラス変数とインスタンス変数の定義と、メソッドの定義
12	Kivy 概要、Kivy プログラム作法、Kivy 言語による GUI の設定
13	Kivy を活用した Windows 上での画面設計と、アプリケーションのプログラミング
14	Kivy を活用した Windows 上でのアプリケーションのプログラミングと、Windows 上での動作テスト
15	Buildozer、xcode と Kivy-iOS を用いた MacOS 上での iPhone アプリケーション変換
16	MacOS 上の iPhone エミュレータでの iPhone アプリケーション動作テスト
17	iPhone へのアプリケーションの転送とリリース、Apple Store への登録法

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	IT エンジニア学科
科目番号	302	科 目 名	Web アプリケーション			科目区分	兼任
科 目 群	総合科目	担当講師	加藤 資寿			履修区分	選択必修
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	オリジナル Web サイト			参考書			
成績評価	平常点(出席率・授業態度・理解度等)、定期試験、提出課題						

1. 授業概要

Web アプリケーションについて、PHP、MySQL を使ってその仕組みを理解する

2. 到達目標

簡易なシステムを作り、サーバとクライアントの仕組みやセキュリティ対策などを理解する

3. 授業計画

前期	
1	web アプリケーションとは何か、成り立ちと概要を理解する
2	WSL を用いた Windows 環境下での Linux 利用方法
3	WSL 下での LAMP 環境構築
4	HTTP リクエストとレスポンスの詳細
5	PHP の導入と動作確認 GET と POST パラメータ渡し
6	サニタイジング処理 (XSS 対策)
7	Session と Cookie の利用
8	DBMS の導入と動作確認
9	中間試験
10	DB 構築と SQL を用いた CRUD 操作
11	SQL を用いたオペレーション
12	DB を使った Web システムの設計
13	DB を使った Web システムの構築
14	DB を使った Web システムの構築つづき
15	DB を使った Web システムのセキュリティ対策と動作テスト
16	web アプリケーションについてまとめ
17	期末試験

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学科名	IT エンジニア学科
科目番号	303	科目名	新技術演習			科目区分	兼任 実務教員
科目群	専門科目	担当講師	山中 修			履修区分	選択必修
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	演習
教科書	なし			参考書			
成績評価	平常点 20%、定期試験 30%・提出課題 50%						

1. 授業概要

3D ソフトである MAYA を使って 3D ソフトの基本的な使い方を習得する

2. 到達目標

3D モデリング技術の習得と光効果などを使った 3D 空間の作成

3. 授業計画

前期	
1	3D ソフトの紹介
2	Basic：基本操作→インタフェースの名称と役割を知る
3	Basic：基本オブジェクトの作成および編集方法（移動、拡大、回転など）
4	Basic：基本オブジェクトの組み合わせで立体オブジェクトを作る（ロボット）
5	Basic：作成したロボットを MixAmo を使ってアニメーション化
6	ポリゴンモデリングの実際：イントロ（コンポーネント要素説明ほか）
7	これまでの復習を兼ねての試験及び試験結果による個別指導
8	コンポーネント編集によるより高度なオブジェクトの作成 1：学生各自で課題設定
9	コンポーネント編集によるより高度なオブジェクトの作成 1：学生各自で課題設定
10	3D 空間演習：自分の部屋のモデリング
11	出来上がった部屋を使つての光および影の設定
12	都市空間など大規模モデリングの手順説明（後期に向けて）
13	共同作業の手順解説
14	キャラクター課題実習 1
15	キャラクター制作物：アニメーション及び UV マッピング
16	キャラクター制作物：試験および制作物講評、各自アドバイス
17	総評

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	ITエンジニア学科
科目番号	304	科 目 名	メディアコンテンツ			科目区分	兼任
科 目 群	総合科目	担当講師	大和 拓			履修区分	選択必修
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	演習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	平常点 40%、提出課題 60%						

1. 授業概要

After Effects と Premiere を使って映像作りの基礎の習得

2. 到達目標

After Effects と Premiere を使って映像作りが一通りできるようになる

3. 授業計画

前期	
1	フットサルチームメンバー紹介ムービー発表
2	フットサルチームメンバー紹介ムービー発表
3	After effectst によるムービーの制作 絵コンテ作成
4	After effectsによるムービーの制作 カメラによる撮影
5	After effectsによるムービーの制作 カメラによる撮影
6	After effectsによるムービーの制作 カメラによる撮影～編集
7	After effectsによるムービーの制作 編集
8	After effectsによるムービーの制作 編集～音入れ・効果音
9	制作発表
1 0	Adobe Premiere によるムービー編集
1 1	Adobe Premiere によるムービー編集
1 2	Adobe Premiere によるムービー編集
1 3	Adobe Premiere によるムービー編集
1 4	Adobe Premiere によるムービー編集
1 5	制作発表と講評
1 6	制作発表と講評
1 7	課題提出

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	IT エンジニア学科
科目番号	305	科 目 名	Web サイト制作 I			科目区分	兼任 実務教員
科 目 群	総合科目	担当講師	鈴木康仁			履修区分	選択必修
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	jQuery デザイン入門			参考書			
成績評価	平常点 30%、中間 35%、期末 35%						

1. 授業概要

Web サイト制作に必要な画像加工や HTML など基礎知識を学ぶ

2. 到達目標

オーサリングソフトの使用方法や HTML の基礎を覚え、実務に活かせるようにする
--

3. 授業計画

前期	
1	座学（インターネットの概要やサーバの話など）
2	Photoshop 制作実習（基本操作切り抜き、ボタンの作成など）
3	Photoshop 制作実習（ボタンの作成、コラージュ）
4	Photoshop 制作実習（AI での画像生成）
5	簡単な WEB ページの制作
6	簡単な WEB ページの制作
7	中間試験
8	簡単な WEB ページの制作
9	簡単な WEB ページの制作
10	簡単な WEB ページの制作
11	jQuery（基礎）
12	jQuery（プラグインの使い方/スライダーなど）
13	サイト構成発表、Photoshop を使用したサイトデザイン制作
14	Photoshop を使用したサイトデザイン制作
15	期末試験対策
16	期末試験
17	期末試験解説、課題提出

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	IT エンジニア学科
科目番号	306	科 目 名	Web サイト制作Ⅱ			科目区分	兼任 実務教員
科 目 群	専門科目	担当講師	鈴木康仁			履修区分	選択必修
開講学年	2 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	jQuery デザイン入門			参考書			
成績評価	平常点 30%、中間 35%、期末 35%						

1. 授業概要

Web サイト制作に必要な画像加工や HTML など基礎知識を学ぶ

2. 到達目標

オーサリングソフトの使用方法や HTML の基礎を覚え、実務に活かせるようにする
--

3. 授業計画

後期	
1	Photoshop を使用したサイトデザイン制作
2	Photoshop を使用したサイトデザイン制作
3	Photoshop を使用したサイトデザイン制作
4	Photoshop を使用したサイトデザイン制作
5	WEB ページのコーディング
6	WEB ページのコーディング
7	中間試験
8	WEB ページのコーディング
9	WEB ページのコーディング
10	WEB ページのコーディング
11	WEB ページのコーディング
12	WEB ページのコーディング
13	WEB ページのコーディング
14	WEB ページのコーディング
15	課題発表・提出
16	課題提出・修正・講評
17	課題提出・修正・講評

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	IT エンジニア学科
科目番号	307	科 目 名	グラフィック応用			科目区分	兼任
科 目 群	総合科目	担当講師	坂上 恒之			履修区分	選択必修
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態.	実習
教科書	なし			参考書			
成績評価	平常点 60%、定期試験 20%・提出物 20%						

1. 授業概要

デジタルデザインコンテンツをより実践的に学ぶ。広告表現に必要な知識、技術を学ぶ。

2. 到達目標

デジタル時代の web と印刷物との連動ワークに対応できる力をつける。

3. 授業計画

前期	
1	紙媒体での印刷データの作り方。CMYK データへの思考の変換。イラストレータの復習。実務に直結した操作。
2	イラストレータの復習。実務に直結した操作。色の選択。
3	印刷入稿データの作り方。デザインの基本ルール（見せ方、読ませ方）
4	イラストレータ による誌面構成、フォントについて
5	単ページ作成 1
6	単ページ作成 2
7	中間試験（単ページ提出）
8	効果的な色の使い方とその理由、広告と書籍の場合の違い
9	複数ページレイアウト（指定雑誌の複数ページ）
10	複数ページレイアウト（指定雑誌の複数ページ）
11	複数ページレイアウト（指定雑誌の複数ページ）
12	複数ページレイアウト（各自の決めた雑誌の複数ページ）
13	複数ページレイアウト（各自の決めた雑誌の複数ページ）
14	複数ページレイアウト（各自の決めた雑誌の複数ページ）
15	期末試験
16	
17	

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	IT エンジニア学科	
科目番号	309	科 目 名	企画制作			科目区分	兼任
科 目 群	総合科目	担当講師	麻生裕之			履修区分	選択必修
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	講師作成資料			参考書:無し			
成績評価	出席(30%)、課題(70%)						

1. 授業概要

企画立案の流れを理解し、ニーズに基づいた課題の発見とコンセプトの考え方を学ぶ。また課題の解決のためのアイデアを考え、それを企画書にまとめていく方法を学ぶ。

2. 到達目標

課題の発見と、その解決のための考え方を身につける。自らの考えをもと企画書が作成できるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス、企画制作とは？ 顧客とニーズ
2	顧客のニーズ、コンセプトとは？ カフェをテーマにコンセプトを考える
3	アイデアの出し方、まとめ方
4	キャッチコピーを考える
5	PR、宣伝、魅力を伝えるには
6	企画とターゲット
7	ターゲットとPR方法を考える
8	企画書の作成、Word を使った企画書の作成術、PDF 作成
9	プレゼンテーションについて、目的、準備、情報収集、発表当日までの流れ
10	イノベーション
11	企画を考える1 具体的なテーマをもとに企画を考える
12	企画を考える2 具体的なテーマをもとに企画を考える
13	企画と提案1
14	企画と提案2
15	企画と提案3、課題の提出
16	課題の講評
17	まとめ

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	IT エンジニア学科
科目番号	310	科 目 名	プレゼンテーション			科目区分	兼任
科 目 群	総合科目	担当講師	麻生裕之			履修区分	選択必修
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	講師作成資料			参考書:無し			
成績評価	出席(25%)、課題 3 回(25%×3)						

1. 授業概要

「企画制作」をもとに、相手を説得するための「プレゼンテーション」について学ぶ。

2. 到達目標

「考え」を伝えるための方法と、相手を説得するための工夫ができるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	プレゼンテーションとは
2	PowerPoint の操作とスライドの挿入
3	視覚に訴えるグラフィカルなスライド
4	動的なスライド
5	企画に基づいたスライド 1 タイトル作成と基本設定
6	企画に基づいたスライド 2 全体の構成
7	プレゼンテーションの準備と実施 1
8	情報収集と検索、素材の利用
9	企画に基づいたスライド 3 魅力を伝える
10	企画に基づいたスライド 4 魅力を伝える
11	プレゼンテーションの準備と実施 2
12	スライドと伝わるデザイン
13	企画に基づいたスライド 5 説得する
14	企画に基づいたスライド 6 説得する
15	プレゼンテーションの準備と実施 3
16	課題提出、講評
17	まとめ

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名		IT エンジニア学科	
科目番号	311	科 目 名	卒業制作			科目区分	専任	
科 目 群	総合科目	担当講師	増田・菊川・篠塚・鳥羽			履修区分	選択必修	
開講学年	2 年	開講学期	後期	単位数	6	授業形態	講義	
教 科 書	なし			参考書:				
成績評価								

1. 授業概要

--

2. 到達目標

自ら企画した卒業作品を制作・発表することで、一連の流れと自分の役割を認識して自ら動けるようになる事を目指す。また、技術に対しての情報収集力を身に付ける。

3. 授業計画

後期	
1	企画書の作成
2	企画書の作成
3	企画書の作成
4	プロトタイプ制作
5	プロトタイプ制作
6	プロトタイプ制作
7	卒業制作内容発表
8	開発・制作作業
9	開発・制作作業
10	開発・制作作業
11	開発・制作作業
12	開発・制作作業
13	開発・制作作業
14	開発・制作作業
15	開発・制作作業
16	レポート作成
17	提出

科目の教育目標・授業計画					「2025年度」		学科名	IT エンジニア学科
科目番号	308	科目名	3 DCG			科目区分	兼務 実務教員	
科目群	総合科目	担当講師	山中 修			履修区分	選択必修	
開講学年	2 年	開講学期	後期	単位数	3	授業形態.	実習	
教科書	なし			参考書				
成績評価	平常点 20%、定期試験 30%・提出課題 50%							

1. 授業概要

MAYA で作成した 3D データを活用し、リアルタイム映像を 2 作品以上を作る

2. 到達目標

3D モデリング技術の習得と光効果などを使った 3D 空間の作成ができる。3 DCG を使用したゲームや VR コンテンツ、その他映像表現など個々のテーマに合わせた制作を目標とする

3. 授業計画

後期	
1	前期で学んだ MAYA の復習;モデリング→シェーディング→アニメーション
2	後期授業の概要説明:使用するソフト(unity)及び制作実習、インストール
3	Unity 基本1:インタフェースを中心にした Unity の使い方解説
4	Unity 基本2:MAYA で作成した3D モデルを Unity で活用する手順
5	Unity 基本3:3D モデルを Unity の Scripting で動かしてみる
6	MAYA と Unity を使った実技演習1(グループで WalkThrough 映像作成)観光案内など
7	MAYA と Unity を使った実技演習1(グループで WalkThrough 映像作成)
8	MAYA と Unity を使った実技演習2(グループで WalkThrough 映像作成)
9	MAYA と Unity を使った実技演習3(グループで WalkThrough 映像作成)
10	講評及び次回演習への準備作業:
11	MAYA と Unity を使った実技演習1(グループで RPG 他の3D ゲームを作る)
12	MAYA と Unity を使った実技演習2(グループで RPG 他の3D ゲームを作る)
13	MAYA と Unity を使った実技演習3(グループで RPG 他の3D ゲームを作る)
14	MAYA と Unity を使った実技演習3(グループで RPG 他の3D ゲームを作る)
15	科目修了制作:講評および仕事の進め方アドバイス
16	期末試験、解説

